

参加者アンケート（自由記述、参加者毎）

①

問1 A

問2 キッズスペース、ものづくりラボランドリーなど併設され入館者の交流の場として活用されていて良かったです。

問3 本棚の分類が漢字で表示され分かりやすかった。

問4 無

問5 南関町も住民と町の対話を大事にしてほしい

②

問1 B

問2 新しい方法での図書館づくりは感心する。もっとゆとりのある空間が欲しい。車イスでの移動が不可との事

問3 空間の使い方に活用する。児童書、絵本が少ないように思った。新しい本をそろえてある。

問4 うまい具合にマッチングしたつくりになっていた。想像力をかりたたえる本選びがしてあった。町の図書館の方が良い面がたくさんあると思った。

問5 図書館という公共施設をもっと町民が活用できる場所に考えてほしい。子供にとって地域の人々にとっても必要なものは何か？目には見えない部分に力を入れることが町の未来に繋がるのではないか。

③

問1 B

問2 説明も十分していただき、ゆっくり見学できた。

問3 目的が観光資源と言われたことに驚いた。本好きの集まりの図書館を否定されたことも意外で20年後100年後の図書館のありかたを理解するのは少々難しかった。

問4 展示方法など面白くはあったが本来の図書館(貸本屋と言われるだろうけど)の部分も少しは重視してもよいと思った。観光資源から脱する為には相当な研究が必要

問5 南関町をになう子供たちの為の図書館、高齢者の憩いの場の図書館という内向きではあるけれど足元を大切に作るものづくりをしてほしいと思います。町民の意見は十分に聞き取りニーズを探りそして、利活用を約束させるぐらいのいいものを作ってください。使ってもらってなんぼと思います。来てとてもよかったです。

④

問1 A

問2 広々とした空間の中で癒し、遊び、読書があり、落ち着いた中で本を探せるのも良かったです。

問3 とても良い施設だと思いました。でも利用者が少なかったです。小さな子供をもつ親子には価値があると思いました。

問4 一階部分は『動』二階部分は『静』ではっきり分かれていたので子供連れの方は遠慮する事なく遊べると思います。子供が成長するにつれて一階から二階に足を運ぶようになると本がもっと身近な

ものに感じられると思います。

問5 小さい子供がいる家族が安心して子育てができる環境を用意していく必要があると思います。遠くに行かなくても、お金がある人もない人も、平等に子育てできる。若い人達がもっと関心を持てるような町であって欲しいです。

⑤

問1 A

問2 幅広い層が利用できる施設で身体を使って動ける場所、静かに活動できる場所があるのがいいと思った。大騒ぎしないなら、おしゃべりOKというのは子連れにはありがたいと思う。

問3 本棚だけど座れる場所があり、さくらんぼ椅子のようなフレキシブルに使える家具が取り入れており用途の一つにとらえない設備はいいと思った。

問4 図書館というより本屋さんのディスプレイのように本の1つ1つのデザインや表紙を生かしている(ラインコードもそう)ので視覚として色々な本にも興味が持ちやすく結果、本に親しむ機会が増えるのだろうなと思った。

問5 何を目的とするか、外からの観光客向けではなく町民が必要なもの、欲しているものを把握していくのが大事だと思う。とはいえ、町は色々な価値観や家族構成の方の集まりなので偏った施設で無く、色々な活用法ができる場所になる事を期待しています。

⑥

問1 A

問2 木の香り、照明、本のコレクション、環境も良く一階の利用価値の高さ、二階のくつろぎの読書空間、こんな図書館は初めてです。本棚のアレンジが楽しく歩いているだけで面白い本に出会える

問3 24時間コインランドリー、ヨギボー、テント、テーブル、も利用価値があり大人も子供も楽しめる

問4 実用的、くつろぎ、家族団らん、交流の場、本とたわむれる、学びの場、この場所ですべてが出来る。人間本来の自分が取り戻せる場所

問5 地域おこし協力隊で人数を増やし、それぞれの分野で活動できる人材を求める。今の図書館は居心地が悪く落ち着かないので全く行く気にならないという人が多い中、うから館は町の中心にあり、椎葉村の図書館をモデルにすれば変わると思う。計画、実行するには町民と町が一つになる必要がある。10年後、20年後も考えた人材確保が必要

⑦

問1 A

問2 新しい図書館の在り方を見ることができた

問3 設備についてはこれまでの公立図書館にあったような見せ方とちがいが、お店(TSUTAYA)に似ている印象。利用者の体験を大切にしている。

問4 公共施設というより観光施設に近い。『遊び』『冒険』『探険』『交流』が施設内に散りばめられている

問5 椎葉村の場合は従来の図書館の在り方から独立している。もう少し静かなスペースがあっても良いかと思う。

⑧

問1 C

問2 コンパクトシティのコミュニティセンター図書館美術館、博物館をイメージしていたので施設自体期待したものではなかった。

問3 蔵所管理はユニークであったと思う。書籍購入の仕方が地元本屋へ他にはないと思われる。

問4 佐賀の武雄市図書館と比較して蔵書数、付帯設備、種類が少ない。IT社会に傾いている今、文字だけの書類ではなく、電子化された図書館に変化する必要があると考える。

問5 南関町の図書館は、郷土の歴史を残す為の施設にするため、美術館、博物館の機能を持った施設にして欲しい。南関町の目玉として、今話題になっている石井家の改修を今回の図書館（うから館）構想に取り入れることを希望します。

⑨

問1 A

問2 南関町よりも人口も人流も少ない椎葉村の試みは、今後の南関町を考える上で大いに参考になった。南関町にとって必要な選書は？特色を生かした人が集まる場にするにはどうしたらいいか？色々考えさせられた。

問3 図書館の求める役割、求められる役割について、ものづくりラボ、町民が求めるものランドリー、コーヒーサービス、クッキングラボ、コワーキングスペースなど

問4 10年後など先を見据えて、元々本好きの人を呼ぶのではなく、本に関心のない人をどうやって引き込むか？というのは、自分にはない考えだったので勉強になった。

問5 人が図書館に持つイメージや求めるものは、それぞれ違うので、万人に支持されるものを作るのは難しいと思うが、方向性をきちんと打ち出して町民にアピールし、理解を得る努力をしていく事が重要だと思った。ハードを整備した後に、人材をどうやっていくか？どう回すか？多くの町民の知恵をおかりしたいと思った。

⑩

問1 A

問2 将来を見据えた図書館づくりを実際に見学でき、居心地のいい時間を過ごさせていただきました。本の配置も興味をそそるものでした。

問3 地域おこし協力隊の活躍

問4 信念をもって活動されている。

問5 南関町を住んでよかった町にするために、町民の意見を吸い上げるリーダーの養成。うから館が、地域の活性化につながるように改修するにあたって、今回の研修はとても参考になったと思います。授乳室、椎葉村の特産にあった木工の部屋、子供たちがくつろげる空間、11人もいる協力隊 etc

⑪

問1 B

問2 子供は別にして、大人がリラックスできるスペースを考えた方がいい。ヨギボー等があっても良かったのですが、だらしない姿を人に見られるのはちょっと恥ずかしい。

- 問3 本を探す楽しさがあり、時間を忘れてずっといたいと思える施設でした。ただ車椅子の人は？
- 問4 関わった人の工夫、優しさを感じます。
- 問5 人だと思います。関わる人の姿勢、地元愛、知識、色んな人を巻き込んで楽しくまちづくりができたらしいですね。お疲れ様です。ありがとうございます。楽しかったです。

⑫

- 問1 A
- 問2 説明がわかりやすかった。図書館の活用＝人材＝町民の方向を常に考えての行動。
- 問3 コーナー、コーナーの充実、アイデア。例、コインランドリー、遊び物。
- 問4 人、才能のある意欲的な人材を集める努力。情報を集める力。
- 問5 長期的な人材の発掘、活用、育成、新しい視点で進めてほしい。図書館もまちづくりも人をどう育てるか、活用するかですね。椎葉に出来て南関にできないことはない。

⑬

- 問1 B
- 問2 お昼ご飯が少なかったという理由ではいけませんか？完食が良かったかな？木のにおいがまだして、落ち着いていてゆったりしていて、田舎の良さがあって◎でした。遊び心が生かされていると思いました。
- 問3 まず、地域おこし協力隊の11名という数に驚き、その面々がそれぞれ専門分野の活動をされていて感動しました。図書館のレイアウトとしては、1階部分は参考にできるところが多々あると思います。本の配置も独特ですが、取り入れるべき点が多く、何より、見たいと思わせる配置だったと思います。
- 問4 理由はないのですが、大人がゆっくりくつろげるスペースがもっとほしいと思う。本を読むスペース＋ボートとできるスペース。
- 問5 もっとも大切にしてほしいのは、人が真ん中にいるまちづくりだと思います。どんな施設を造るか、設備をどうするか、何を置くか、全て「人」を中心に据えて考えてもらいたい。ならばそういうモノを作る「作り手」のものの見方、考え方が生かされるまちづくりをしてほしい。要するに「人」です。「ネットワーク」楽しい研修でした。ありがとうございます。

⑭

- 問1 A
- 問2 椎葉村のこだわりがたくさん詰まっていた。
- 問3 無料で英会話が学べたり、フリーペーパーの質が高かったり予算を取っていたこと。村外のかつ、日本の中でも上位の物に触れられる仕組み。本と漫画で区別せず中身が同じものは近くの棚に置いていたこと。
- 問4 今まで図書館に興味がない足が向かない方が来なくなるような取り組みだから。
- 問5 人を生かす。南関町のこだわりを明確にすること。
どこに向かうのかゴール設定。授乳室は絶対置く。